

## 「横浜市立高校の進路イベントで自衛隊の魅力を伝える」



職業デモブースで広報官も説明に力が入る

広報官の制度説明に聞き入る学生達



背囊の重さを体感

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、9月25日（金）、横浜市立横浜総合高校で実施された「第1回横総未来博」に自衛隊ブースを出展した。これは毎年この時期に高校全学生と地域住民が参加して行われる進学、就職のための行事で、今年は新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して実施された。

当日は対象学生約900名に対し、自衛隊をはじめ約40を超える企業・大学・専門学校等が参加した。開始早々、自衛隊の制度説明ブースに学生が訪れ、広報官の説明に熱心に聞き入っていた。訪れた学生からは「自衛隊への入り方を教えてください」との質問があり、既に就職先に自衛隊を視野に入れているようだった。

また職業デモブースにおいては、陸上自衛隊の偽装網を展張し背囊体験などを行った。訪れた教師や学生等は、先ずほとんどが見たことも無い偽装網に驚き、更には約20kgの背囊を背負っては、「重〜い!」と思わず声が上がると、実体験を楽しんでいた。校長からは「毎年の行事参加で盛り上げていただき、有難うございます」と感謝の言葉をいただいた。

横浜中央募集案内所は「このような学校行事を積極的に支援し、学校教育に貢献するとともに自衛隊に興味を持ってもらい、募集成果につないでいきたい」としている。

## 航空自衛隊浜松広報館見学

## 「航空自衛隊に入りたいという気持ち益々強くなった」



浜松広報館エアパーク見学

（左から、赤間広報官、参加者の嶋津君、黒部君、廣森広報官）



フライトシミュレーターでパイロット気分

展示航空機の前で記念撮影

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、10月7日（水）航空自衛隊浜松基地で行われたブルーインパルスの訓練飛行と浜松広報館（エアパーク）の見学に対象者を案内した。

当日は神奈川から8名の対象者が参加し、最初に基地に隣接しているエアパークを見学した。ここは、航空自衛隊を一般の方に理解してもらうためにつくられた施設で、戦闘機や航空装備品が数多く展示してある。

また会場内にはジェットパイロットと同じ飛行コースを体験できるフライトシミュレーターなども設置されており、参加者は、操縦桿を手にパイロット気分を味わうなど、この施設を思い思いに楽しんでいった。

午後はブルーインパルスの訓練飛行があり、曇り空ではあったが見事な編隊飛行を見ることができた。参加者からは「この見学で、航空自衛隊に入りた〜いという気持ちが益々強くなりました」と、自衛隊に入りた〜いという熱い気持ちを感じ取れた。最後に航空機をバックに参加者全員で記念撮影し、彼らは満足そうに浜松基地を後にした。

横浜中央募集案内所は「このようなイベントに対象者を積極的に案内し、今年度募集の受験率及び入隊率向上を図ってきたい」としている。